



## 乾 浩典

農学研究科等  
経理課  
第一経理掛  
平成 10 年度採用

### ●現在の仕事について

現在、当学部では4年間にわたり農学部総合館の改修工事を実施しており、私はこれに伴う研究室等の移転業務に携わっています。移転計画の作成、実験設備の購入、これらに係る連絡調整を担当しています。教員と業者の橋渡し役ですので、要望を正確にとらえ、双方に伝えられるよう心がけています。

### ●今までの仕事で一番印象に残っていること

以前の部署で決算業務（財務報告書の作成等）を担当していたのですが、財務報告書という機関にとって重要な書類作成を任されたものの、全く経験したことのない業務であり、分からないことの連続で困惑していました。しかし、上司・先輩に教えてもらいながらも無事終えたとき、分からない仕事への不安は自信に変わり、今は良い経験が出来たといえます。

### ●京都大学を志望する方へのメッセージ

多くの人と関わりながら仕事をする中で、『すごい！』と思う機会がたくさんあるはずです。日々自分を刺激し、向上心をもって仕事に取り組んで欲しいと思います。

Hironori Inui



## 荒川 小夜子

学生部  
学生課  
学生企画グループ  
平成 18 年度採用

### ●現在の仕事について

課外教養行事、京都学生祭典、京都大学総長賞に関わる業務等を行っています。課外教養行事の1つである能楽鑑賞会では、パンフレット作成に関して能楽部の学生にアドバイスをもらうなど、学生と接する機会が多い職場でもあるため、職場の人だけでなく学生からも学ぶことが多い職場です。勉強だけでなく色々な面で頑張っている学生を応援していく仕事をこれからも頑張りたいです。

### ●京都大学の魅力

平成18年度4月から京都大学で働き始めましたが、京都大学の魅力は良くも悪くも「寛容さ」があることだと思います。京都大学で学生時代を過ごす学生にとって、その「寛容さ」が様々なことにチャレンジする機会を与えるようなものにこれからはなっていければと思っています。

### ●京都大学を志望する方へのメッセージ

京都大学には様々な業務があるため、配属先の業務が、学生とは直接関わっていない仕事になるかもしれません。しかし、学生がこれからの人生にとって心の柱となるものをたくさん吸収していく場「大学」で働いている、ということを少しでも意識しながら仕事をしていって欲しいと思います。

Sayoko Arakawa



## 山本 千恵

附属図書館  
情報サービス課  
資料運用掛  
平成 18 年度採用

### ●現在の仕事について

貸出返却、利用一般の受付対応を行っています。利用者データの登録作業やメンテナンス、館内を快適にご利用いただくための整備（配架整頓、掲示案内）も担当しています。また日々の業務と併せて、京都大学図書館機構の、広報誌「静脩」※1 編集小委員会や将来構想プロジェクト WG、全学共通科目「情報探索入門」※2、システムリプレイス閲覧 WG に参加しています。こうした部署を超えた取組みは情報交換の場、なにより私には研修の場となっています。

※1 <http://www3.kulib.kyoto-u.ac.jp/bull/jpn/seishu.html>

※2 <http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/tinyd2/index.php?id=3>

### ●京都大学を志望した理由

正規職員として働くことのできる図書館に限られている昨今、その職員枠があることが大きな動機となりました。また京都大学は規模が大きく、他機関との人事交流が盛んで、近畿地区や大学図書館全体の中心的図書館となっている点が評価できます。さらに、手本となる魅力ある働く女性がたくさんいるという印象を持っていました。実際に、働きやすい環境が整っている（男女比率、出産育児休暇の待遇とその前例多）と感じています。

Chie Yamamoto



## 川野 裕介

法学研究科  
教務掛  
平成 15 年度採用

### ●現在の仕事について

法学部の教務に関する仕事をしています。具体的には定期試験及び成績に関すること、休学、退学等の学籍異動に関すること、卒業に関することなどを担当しています。学生と接する機会も多く、自分が就職する前にイメージしていた、まさに大学の事務職員という感じです。学生数の多い学部ですので、定期試験のときなど大変ですが、周りの方々に助けてもらいながら頑張っています。

### ●京都大学の魅力

日本を代表する歴史と伝統のある国立大学であり、将来あらゆる分野で活躍するであろう優秀な学生が学び、生活をしている場であるということが、やはり一番の魅力ではないかと思います。

### ●今までの仕事で一番印象に残っていること

大学の施設整備に関する計画に取り組んでいたとき、それに反対する学生たちとの話し合いがこじれにこじれて、深夜遅くまで説明会をしたことが一番印象に残っています。少数意見であるとしても、大学を構成する学生を無視して計画を進めることは出来ません。大学という場には多くの考えがあり、その中で物事を決定することの難しさを実感しました。

Yusuke Kawano